



## 平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 第一工業製薬株式会社

コード番号 4461 URL <http://www.dks-web.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 坂本 隆司

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役財務本部長 (氏名) 浦山 勇 TEL 075-323-5955

四半期報告書提出予定日 平成29年8月9日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	13,695	7.9	991	56.5	790	42.5	500	54.6
29年3月期第1四半期	12,697	△6.8	633	△8.6	554	△15.2	323	△15.5

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 838百万円 (－%) 29年3月期第1四半期 △41百万円 (－%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	9.87	9.86
29年3月期第1四半期	6.12	6.12

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	68,941	28,243	39.2	533.46
29年3月期	69,046	28,044	38.9	529.94

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 27,037百万円 29年3月期 26,854百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	0.00	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	27,200	5.6	1,400	△13.5	1,300	△11.7	850	△10.8	16.77
通期	57,800	10.6	4,000	1.4	3,800	0.7	2,500	0.4	49.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	53,421,609株	29年3月期	53,421,609株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	2,739,185株	29年3月期	2,747,089株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	50,677,155株	29年3月期1Q	52,855,733株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、所得や雇用環境の改善を背景に個人消費は持ち直しつつあり、緩やかな回復基調が続いております。一方で、海外の経済情勢は、緩やかな回復基調が継続していますが、今後の展望に関しては、アメリカの金融政策正常化の影響や中国を始めとするアジア新興国の経済先行き、英国のEU離脱問題等、留意すべき懸念材料が存在しております。

化学業界におきましては、基礎原料のナフサ価格は依然として低水準で推移していますが、中東情勢の混迷、資源国や新興国経済の減速懸念など、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループの5ヵ年経営計画「REACT1000－飛躍への行動を－」が平成29年4月から中間点の3年目に入りました。2年目の平成28年度は、ナフサを主とする原料価格が安価な水準で推移したこと、開発した高採算事業が順調に伸びていること、そして、コストダウンの取り組みが功を奏したことで3年連続して過去最高益を更新しました。本年度は、売上拡大を確実にする営業行動のイノベーションを実施し、また、平成27年12月に商業生産を開始した霞工場のマザー工場化を加速、充実させ、さらに海外展開に拍車をかけます。

当第1四半期連結累計期間の業績といたしましては、売上高は136億95百万円（前年同四半期比7.9%増）、営業利益は9億91百万円（前年同四半期比56.5%増）、経常利益は7億90百万円（前年同四半期比42.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億円（前年同四半期比54.6%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## &lt;界面活性剤&gt;

界面活性剤の売上高は、総じて好調に推移しました。

国内では、IT・電子用途の活性剤はやや低迷しましたが、機械・金属用途の活性剤は順調に推移し、石鹼・洗剤用途の活性剤は伸長しました。

海外では、ゴム・プラスチック用途の活性剤はやや低調に推移しましたが、繊維用途の活性剤は順調に推移しました。

その結果、当セグメントの売上高は50億85百万円（前年同四半期比2.7%増）、営業利益は3億83百万円（前年同四半期比1.5%減）となりました。

## &lt;アメニティ材料&gt;

アメニティ材料の売上高は、総じて大幅に伸長しました。

国内では、セルロース系高分子材料は、飼料用途がやや低調に推移しましたが、エネルギー・環境用途が順調に推移し、医薬品用途が堅調に推移しました。ビニル系高分子材料はゴム・プラスチック用途等が順調に推移しました。

海外では、セルロース系高分子材料の食品用途が堅調に推移し、ショ糖脂肪酸エステルは食品用途及び香粧品用途が堅調に推移しました。

その結果、当セグメントの売上高は18億71百万円（前年同四半期比11.4%増）、営業利益は1億43百万円（前年同四半期比171.6%増）となりました。

## &lt;ウレタン材料&gt;

ウレタン材料の売上高は、総じて伸長しました。

フロン規制に関連する環境配慮型の合成潤滑油はやや低迷しましたが、土木用薬剤は公共工事の増加により大幅に伸長しました。

その結果、当セグメントの売上高は22億78百万円（前年同四半期比6.1%増）、営業利益は13百万円（前年同四半期は37百万円の損失）となりました。

## &lt;機能材料&gt;

機能材料の売上高は、総じて大幅に伸長しました。

国内では、水系ウレタン樹脂は繊維用途が好調に推移し、難燃剤はゴム・プラスチック用途が伸長し、光硬化樹脂用材料はIT・電子用途が大幅に伸長しました。

海外では、難燃剤はゴム・プラスチック用途が順調に推移しました。

その結果、当セグメントの売上高は33億75百万円（前年同四半期比12.6%増）、営業利益は4億17百万円（前年同四半期比72.6%増）となりました。

## &lt;電子デバイス材料&gt;

電子デバイス材料の売上高は、総じて大幅に伸長しました。

射出成形用ペレットは低迷しましたが、ディスプレイ用途のデバイス材料は新規開発が実り順調に推移し、太陽電池用途の導電性ペーストは需要の回復により大幅に伸長しました。

その結果、当セグメントの売上高は10億84百万円（前年同四半期比17.9%増）、営業利益は33百万円（前年同四半期は13百万円の損失）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は346億42百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億5百万円減少いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が1億84百万円、商品及び製品などのたな卸資産の合計が2億26百万円増加しましたが、現金及び預金が11億31百万円、未収入金などのその他（流動資産）が5億78百万円減少したことなどによるものであります。固定資産は342億98百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億円増加いたしました。これは主に四日市霞工場における非イオン界面活性剤製造設備の建設等により有形固定資産が8億49百万円、株価上昇により投資有価証券が3億31百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、総資産は、689億41百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億5百万円減少いたしました。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は214億85百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億38百万円増加いたしました。これは主に未払法人税等が3億39百万円減少しましたが、支払手形及び買掛金が2億88百万円、短期借入金が3億91百万円、設備関係未払金などのその他（流動負債）が6億27百万円増加したことなどによるものであります。固定負債は192億12百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億42百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が12億26百万円減少したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は、406億97百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億3百万円減少いたしました。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は282億43百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億98百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益5億円を計上したものの、剰余金の配当6億8百万円により利益剰余金が1億7百万円減少しましたが、株価上昇によりその他有価証券評価差額金が2億78百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、自己資本比率は39.2%（前連結会計年度末は38.9%）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年4月27日付で公表いたしました通期の連結業績予想からの変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,379	8,248
受取手形及び売掛金	14,832	15,016
商品及び製品	6,692	6,664
仕掛品	35	30
原材料及び貯蔵品	1,683	1,943
前払費用	245	260
繰延税金資産	339	314
その他	2,750	2,172
貸倒引当金	△10	△7
流動資産合計	35,947	34,642
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,355	11,222
機械装置及び運搬具（純額）	5,646	5,495
工具、器具及び備品（純額）	407	416
土地	9,358	9,426
リース資産（純額）	700	663
建設仮勘定	922	2,016
有形固定資産合計	28,390	29,239
無形固定資産	387	353
投資その他の資産		
投資有価証券	3,217	3,549
長期貸付金	23	22
長期前払費用	324	302
繰延税金資産	51	50
退職給付に係る資産	264	342
その他	445	444
貸倒引当金	△6	△6
投資その他の資産合計	4,320	4,705
固定資産合計	33,098	34,298
資産合計	69,046	68,941

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,464	10,753
短期借入金	6,001	6,392
リース債務	299	295
未払法人税等	532	193
賞与引当金	603	455
未払事業所税	35	9
未払費用	386	535
繰延税金負債	2	2
その他	2,222	2,849
流動負債合計	20,547	21,485
固定負債		
長期借入金	18,593	17,366
リース債務	819	752
繰延税金負債	426	532
退職給付に係る負債	262	232
資産除去債務	72	72
その他	279	254
固定負債合計	20,454	19,212
負債合計	41,001	40,697
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,895	8,895
資本剰余金	7,218	7,217
利益剰余金	11,300	11,192
自己株式	△1,120	△1,117
株主資本合計	26,293	26,187
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	145	423
繰延ヘッジ損益	△2	△2
為替換算調整勘定	206	186
退職給付に係る調整累計額	212	242
その他の包括利益累計額合計	561	849
新株予約権	3	2
非支配株主持分	1,186	1,203
純資産合計	28,044	28,243
負債純資産合計	69,046	68,941

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	12,697	13,695
売上原価	9,655	10,233
売上総利益	3,041	3,461
販売費及び一般管理費	2,408	2,470
営業利益	633	991
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	2	2
持分法による投資利益	23	18
その他	16	32
営業外収益合計	42	54
営業外費用		
支払利息	70	63
補償関連費用	—	160
その他	50	31
営業外費用合計	120	255
経常利益	554	790
特別損失		
固定資産処分損	41	37
特別損失合計	41	37
税金等調整前四半期純利益	513	752
法人税、住民税及び事業税	114	163
法人税等調整額	53	59
法人税等合計	167	222
四半期純利益	345	529
非支配株主に帰属する四半期純利益	22	29
親会社株主に帰属する四半期純利益	323	500



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	345	529
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△229	278
繰延ヘッジ損益	1	0
為替換算調整勘定	△129	11
退職給付に係る調整額	△6	29
持分法適用会社に対する持分相当額	△23	△11
その他の包括利益合計	△387	308
四半期包括利益	△41	838
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△22	788
非支配株主に係る四半期包括利益	△19	49

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## Ⅰ 前第1四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年6月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	界面活性剤	アメニティ 材料	ウレタン材料	機能材料	電子デバイス 材料	合計
売上高						
外部顧客への売上高	4,952	1,679	2,147	2,997	920	12,697
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,952	1,679	2,147	2,997	920	12,697
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は営業損失)	388	52	△37	242	△13	633

(注) 報告セグメント利益の合計金額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。

## Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成29年4月1日 至平成29年6月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	界面活性剤	アメニティ 材料	ウレタン材料	機能材料	電子デバイス 材料	合計
売上高						
外部顧客への売上高	5,085	1,871	2,278	3,375	1,084	13,695
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,085	1,871	2,278	3,375	1,084	13,695
セグメント利益（営業利益）	383	143	13	417	33	991

(注) 報告セグメント利益の合計金額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。